

市民活動・ボランティア

MIE NON-PROFIT ORGANIZATION & VOLUNTEER NEWS



◆発行◆
514-0009
津市羽所町700番地
アスト津3階
みえ市民活動ボランティアセンター
Tel.059-222-5981
Fax.059-222-5971
E-mail seiknpo@pref.mie.jp
NPO室のホームページ
http://www1.mienpo.net/npot
三重県のホームページ
http://www.pref.mie.jp

市民活動にニュースはこちらにあります!

【地域の市民活動センター等】津市市民活動センター(津市大門7-15 津センターバース3階)/オールウェイズ(津センターバース1階)/津中央郵便局ボランティアコーナー(津市中央)/【有】デザインオフィス荻野(津市大谷町301-1)/市民活動情報ネットワークすずかのぶどう(鈴鹿市白子駅前18-15)/南勢町市民活動室連絡協議会(南勢町五ヶ所浦3917町民文化会館内)/特定非営利活動法人伊勢志摩NPOネットワークの会(伊勢市一色町2)/鳥羽NPOネットワークセンター・結(鳥羽市鳥羽1-3-8)/特定非営利活動法人みえきた市民活動センター(桑名市田町33)/四日市市民活動センター(四日市市蔵町4-17)/寺子屋プロジェクト(四日市市天ヶ須賀4丁目9-19)/ウイリアム テルズ・アップル まちづくりセンター(伊賀市上野福居町3317)/みえ市民活動ボランティアセンター(津市羽所町700アスト津3階)/伊賀市中央公民館/伊賀市立図書館/上野青年会館/名張市立図書館/名張青年会議所/皇学館大学名張キャンパス/名張市総合福祉センター/エコリソート赤目の森(名張市上三谷268-1)/明和町市民活動サポートセンター(明和町馬之上944-5)/松阪大学(松阪市久保町1846)/松阪市市民活動センター(松阪市日野町788)/名張市市民活動センター(名張市夏見2812)/松阪まちづくりセンター「まちの駅松阪「寸庵」(松阪市本町2217)/伊賀市市民活動支援センター(伊賀市馬場1128番地)/くらしの情報センター同夢(名張市夏見251-1/バクンティなびり)

【地域の社会福祉協議会】県内49の市町村社会福祉協議会
【金融機関】百五銀行各店/三重銀行各店/東海労働金庫各店
【行政機関等】三重県庁県民ホール(津市広明町13)/三重県地域機関(各県民局(桑名、四日市、鈴鹿、津、久居、松阪、南勢志摩、伊賀、紀北、紀南)/三重県民サービスセンター(情報公開窓口)/三重県総合医療センター/三重県立一志病院/三重県立志摩病院/三重県立こころの医療センター/宮富歴史博物館/三重県立博物館/三重県立図書館/三重県生涯学習センター/三重県男女共同参画センター「フレンドみえ」/三重県人権センター/三重県身体障害者総合福祉センター/三重県環境学習情報センター/各市町村役場



これから市民活動・ボランティア活動を始めたという方、始めたばかりという方の疑問などにお答えします。

呼びかけ文って、どう書けばいいの？

イベントをするにしても、仲間を募るにしても、呼びかけ文はたいへん重要です。いつ、どこで、どうやって、企画の内容を伝えればいいのか。チラシを手にとり読んでくれるのはどんな人でしょうか。いろいろ想像して基本的な記事と写真(イラスト)を用意しておくを使い回しがききますよ。今回は、イベントなどの基本的な呼びかけ文を書くポイントを紹介しします。

- 【タイトル】・長すぎず、短すぎず、タイトルから内容がわかるように。
- 【とき】☆月□日(曜日) 午前○時～午後△時
- ・日付や時間帯は、特にチェックしておきます。
- ・記事を提出する先の締切に間に合うかも考えましょう。
- 【ところ】住所など(最寄りの駅・駐車場の有無)
- ・自分たちがよく知っている場所でも、初心者の方にはわかりにくい場所かもしれません。最寄りの駅や駐車場のことも明記しておくとうまく参加しやすくなります。

- 【参加費】○,○○○円(高齢者・子どもの場合の割引などがあれば記載します)
- ・ボランティアは、無料ではありません。費用が必要な場合は、キチンと明記します。
- 【主催・問い合わせ先/申込みの要不要/ホームページURL】
- ・主催者を明記しましょう。団体名だけではなく、担当者名前を書くことで信頼感が増します。
- ・申込みが必要な場合は、必要な理由を書いておきます。
- ・ホームページは問い合わせ先と同じですか。ホームページには関連する記事が掲載されていますか。
- 【その他】
- ・後援名義は、手続きや事後報告など面倒な作業もありますが、関連する行政機関への周知活動でもあり、参加者の安心保障です。後援名義も利用してイベントなどを成功に導きましょう。
- ・託児サービスもあれば書きます。イベントの対象者が託児を必要としているかどうか、これは結構重要なポイントです。
- ・屋外でのイベントは、雨天時の注意が必要になります。
- ・できるだけ手話通訳等ハンディキャップを持つ人への対応も書き添えましょう。
- ・記事はなるべくメールで送信しましょう。転載歓迎と書いておくとう情報の広がり期待できます。
- 【内容】
- ・この記事の内容に興味を持って欲しい人はどんな人でしょうか。興味を持った人が参加したいなあと思うには、企画のどの魅力を伝えればよいのでしょうか。こと細かく書く必要は全くありません。一番伝えたいことを中心に書いて、来ていただければ『よかったなあ』と思っていただければいいのです。
- さて、こうやって見てみると呼びかけ文を作ることは、自分たちの企画の良いところに気づく作業だと思いませんか。ですから、記事提供は、面倒だなあと思わずに企画を見直すつもりで頑張って取り組んでください。でも、くれぐれも、締切(毎月15日)は守ってくださいね。あなたの記事、お待ちしております!
- 文責:三重県生活部NPO室 森下道大

つながる つなげる 4 県ボランティアセンター 北出真由美

先日、三重県内の大学、福祉関係の専門学校、高等専門学校で学生のボランティア活動を担当されている先生や職員の方々に集まっていたいただき、情報交換会を開きました。こうした、大学などでのボランティア活動に関する動きは、全国的に注目されてきていて、既に大学内にボランティアセンター(VC)を設置しているところがいくつかあります。もちろん三重県内にもVCを設置している大学がありますが、まだまだ、数は少ないですし、その体制についても、学内はもちろん、それを支えていく外部とともに、解決していかなければならない課題が山積みです。今回の交換会では、その実情を、まず出席者間で共有できただけでも一歩前進。そして、その時に「まずは」の課題として挙げられたのが、学校間そして、県・市町村社会福祉協議会を含む関係機関とのネットワークづくりです。例えば、災害時にこの学校の学生さんならば、専門分野を活かしてどんな活動ができるかを事前に調べておき、その情報を学校も関係機関も共有していれば、緊急な要望にも迅速な対応ができるようになります。

やらなければならないことも、やりたいことも山程ある年代の人々の選択肢の中に、ボランティア活動が加わるためには、とっつき易さも大きく関わってくるはず。毎日通う構内にその窓口が設置されていれば、身近に手軽にボランティア活動に溶け込むことができ、そこから自分自身や社会構造を見つめたり考え直したりするきっかけになるのではないのでしょうか。

情報をお寄せください。市民がつくる市民活動の情報です。
ホームページ版、朗読テープ版もあります。お気軽にお問い合わせください。



「CSR」とは、企業も社会の一員として、さまざまな角度から、地域社会などに対し、責任ある行動を取ろうという考え方です。

自分たちのまちを安全で、暮らしやすいまちにしたい 三重県石油商業組合「防災・防犯SOS」事業

三重県石油商業組合は「自分たちのまちを安全で、暮らしやすいまちにしたい」と願い、それを実現するために平成13年度より子どもや地域の安全のため

に、社会貢献事業に取り組んでいます。

まず最初に取り組んだのが「防犯」です。近年、子どもや女性など社会的弱者を狙う犯罪件数は増加し、その犯行内容の凶悪化も進んでいます。この社会状況を重く受け止めた私どもは、県内約750ヶ所ある加盟ガソリンスタンドを緊急避難場所として活用していただくことにしました。これは往来の多い道路に面しており、夜間でも明るく入りやすいというガソリンスタンドの特性を活かしたものであり、緊急避難場所として機能すると共に、事件・事故防止の呼びかけの拠点として活用していただくことで、地域の安全を確保しようと考えています。

マスコットキャラクターとしてカンガルーを使用し、子どもたちには「危いと思った時はカンガルーマークのガソリンスタンドへ逃げ込んで」とアピールしてきました。お陰様で、子どもたちはもちろん、保護者の方にも広く認知していただくようになりました。

平成15年度からは事業名を『防災・防犯SOS』事業とし、従来の

防犯事業に加え、新たに地震など防災分野にも取り組むこととなりました。

三重県では、東海地震などの発生による大きな被害が予測されており、いつ起こるかかわらない地震に常日頃から備えておく必要があります。

三重県石油商業組合はこの大震災に備え、平成15年度に三重県・海上保安庁と災害時に、石油製品を安定供給するという協定を結んだほか、平成16年度には震災時帰宅困難者を支援する「帰宅困難者支援ステーション」として機能することを県と約束しました。

また、ガソリンなどの燃料を扱っているため、火災はもちろんのこと、地震などの災害が起こった時にも安全であるよう、常日頃から消防署の厳しいチェックを受けることはもちろん、スタッフにも安全管理を徹底しております。

当組合では、本年度も引き続き「防災・防犯SOS」事業に取り組んでいきます。どうか当事業をご理解いただき、ご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



平成16年度のポスター。

みなさんへのお知らせ

特定非営利活動法人認証申請団体と成立団体のお知らせ

特定非営利活動法人(NPO法人)申請は7団体ありました。引き続き、認証申請を受け付けています。

申請のあった団体と成立した法人を紹介します。なお、関係書類は三重県生活部NPO室及び各県民局生活環境森林部に備え置いております。

●認証申請団体

(1)名称(2)代表者氏名(3)法人事務所の所在地

(1)ファミリア(2)北口貴啓(3)名張市すずらん台西3番町62番地/(1)夢水姫(2)竹野房子(3)四日市市石塚町7番41-106号/(1)SOUWA999(2)相楽信男(3)伊賀市上野丸之内117番地/(1)アワ歌会(2)黒宮香織(3)伊勢市楠部町54番地4/(1)夢のやかた(2)羽田規夫(3)鈴鹿市郡山町2079番地の1/(1)Nature Factory ダバ(2)金森謙治(3)四日市市日永西五丁目17番19号/(1)めいわ市民活動サポートセンター(2)世古口文子(3)多気郡明和町大字馬之上944番地5

(平成17年4月15日~平成17年5月14日申請分)

●成立した特定非営利活動法人(登記年月日)

特定非営利活動法人 アズベストスポーツクラブ(16年6月10日)

特定非営利活動法人 21健康生きがいネットワーク(17年1月20日)

特定非営利活動法人 伊賀の伝丸(17年4月4日)

特定非営利活動法人 四日市学総合環境センター(17年4月4日)

特定非営利活動法人 地域と自然(17年4月14日)

特定非営利活動法人 MMC三重カウンセリングセンター(17年4月15日)

特定非営利活動法人 グループホーム滝原(17年4月26日)

(平成17年4月15日~平成17年5月14日届出分)

【みえ県民交流センター運営委員会からのお知らせ】

●とき/6月13日(月)PM7:00~PM9:00

●ところ/みえ県民交流センター交流スペース

(津市羽所町700アスト津3階)

●内容/①センターでこんなことをやっています情報(利用基準見直し)(2)その他

●問い合わせ先/みえ市民活動ボランティアセンター

Tel.059-222-5995 Fax.059-222-5971

E-mail center@mienpo.net

ホームページ <http://www.mienpo.net/center/>

イベントスケジュール



写真展「サッカー・世界の共通語」

●とき/5月23日(月)~6月5日(日)

ただし、5月29日(日)全日と6月4日(土)午後はお休み

●ところ/アスト津3階交流スペース及びイベント情報

コーナー

●内容/2006年FIFAサッカーワールドカップ公式文化プログラムの一つである写真展「サッカー・世界の共通語」(ドイツ文化センターとMAGNUM PHOTOSの共同企画)のポスター・ヴァージョンによる展覧会を開きます。写真ポスターは全部で52枚あり、世界各地で様々な時代、人々、仕方サッカーを楽しんでいる様子が撮られており、サッカーは世界の人々を結ぶ共通語だ、というメッセージが伝わってきます。

●主催・問い合わせ先/三重日独協会(担当:大河内朋子) Tel.& Fax.059-227-0687 E-mail okochi_tomoko@mac.com

●内容/「子どもの心を受け止めるネットワークみえ」は、「チャイルドライン24」として子ども達から電話を受ける「受け手」、「受け手」をフォローする「支え手」として、ボランティアで活動して下さる方を養成するための講習会を開催します。講習会に参加し、ボランティアとして受け手・支え手をしてみませんか?指示しない、指導しない、掛け手の心に寄り添い耳を傾け、掛け手の主体性を大切にしたい子ども専用電話(チャイルドライン)に興味のある方は是非ご参加ください。なお、「子どもの心を受け止めるネットワークみえ」は、三重県生活部青少年育成室、NPO室、教育委員会総務室、健康福祉部子ども家庭室とNPO団体(18団体)が参加しているネットワークです。

●申込・問い合わせ先/「子どもの心を受け止めるネットワークみえ」事務局 特定非営利活動法人 MIEチャイルドラインセンター Tel.059-232-8172 E-mail mie-childline@za.ztv.ne.jp ホームページ <http://www.mienpo.net/nwmie/index.html>

三重県地方自治研究センター総会記念講演

「新しい時代の公」と「みえの文化力」

●とき/5月30日(月)PM2:30~PM4:00 ●参加費/無料

●ところ/(財)三重地方自治労働文化センター4階大会議室

●内容/三重県では、昨年度スタートさせた総合計画「県民しあわせプラン」において、「新しい時代の公」という考え方を提唱しています。住民をはじめ多様な主体が「公」の担い手として参画すること

「チャイルドライン24」受け手・支え手養成のための講習会

子どもたちが安全に安心して健やかに育つ地域社会づくり

●とき/5月29日、6月12日、6月19日、6月26日、7月3日(全て日)

●ところ/津地方県民局大会議室(但し、6月26日はアスト津)

●参加費/大人6000円、ユース(12~25歳)3000円

※個別受講も可。その場合は、1プログラム1500円です。

●申込・問い合わせ先／特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター Tel.0594-27-2700 (平日午後1時から3時)
 桑員エコリーグ事務局 Tel.0594-24-3600
 ホームページ <http://www.mie-kita.gr.jp>
 ●主催／桑員環境サミット準備会、特定非営利活動法人 みえきた市民活動センター ●協力／桑員エコリーグ

「子どもと教科書全国ネット」代表委員の小森陽一さんです。分科会テーマなど詳細はお問い合わせを。
 ●申込方法／見学分科会には申込が必要。事前に電話にて希望分科会の空き状況を確認し、住所、氏名、年齢、電話番号、希望の分科会番号を明記し、Faxまたは郵便で下記まで。
 ●主催・申込・問い合わせ先／514-0022 津市愛宕町236 第50回三重県母親大会実行委員会、第43回中勢地区母親大会実行委員会 Tel.&Fax.059-225-0489

.....
第36代なごや民間大使を囲むつどい

アジアのスマイル*ベトナムへようこそ!
 ●とき／6月19日(日) PM2:00~PM4:00
 ●ところ／名古屋国際センター別棟ホール
 ●参加費／一般800円、賛助会員400円(当日払い)
 ●内容／ベトナム出身の第36代なごや民間大使ウォン・フォン・チャンがベトナムの魅力を、軽食や音楽を交えてたっぷり紹介します。様々な角度から見たベトナムの姿を語るほか、試食タイム、ファッションショー、ベトナムクイズ大会などを企画しています。
 ●募集人数／150人(要予約・先着順)
 ●応募開始／6月11日(土) ●申込方法／電話予約
 ●主催・申込・問い合わせ先／(財)名古屋国際センター交流協力課 Tel.052-581-3755

.....
「川づくり会議みえ」第3回総会&記念講演会

●とき／7月2日(土) 総会PM1:45~PM2:45
 記念講演PM3:00~PM4:30
 ●ところ／アスト津4階 アストプラザ研修室A ●参加費／無料
 ●内容／魚道研究者の君塚芳輝さんによる記念講演、『さかなみち～魚心・水心あれこれ』を行います。
 ●問い合わせ先／川づくり会議みえ(事務局:久世憲志) 携帯Tel.090-5637-0727 E-mail kuzue2@bronze.ocn.ne.jp

.....
『深く責任は持ちません』(!?)

講演会
～障害者福祉とボランティア～
 ●とき／6月22日(水) PM1:30~PM3:30
 ●ところ／津市民活動センター内 介護実習室(津市大門津センターバレス3階)
 ●内容／講師は歩行訓練士であり、特定非営利法人アイパートナーの理事長である前川賢一さん。アイパートナーは、音声訳による情報提供や外出介助などの活動を通して、視覚障害者の自立と社会参加の機会促進を支援する活動をしているボランティアグループです。なお、会場準備の都合上、できるだけ事前に申込みください。
 ●申込・問い合わせ先／津市社会福祉協議会ボランティアセンター(担当:十亀そがめ) Tel.059-213-7111 Fax.059-224-6067
 ●主催／津市ボランティア連絡協議会加盟サークル『津朗読会』、『津市ガイドヘルパー友の会 ともしび』

.....
ネットワークのよびかけ

伊賀市市民活動支援センター開設から2カ月!

伊賀市の端っこに位置するために、市内でも交通面では不便な点もあると思いますが、情報収集・提供機能を充実させて行くことによって、機材や場の提供などでしたらお近くで利用できる場所の紹介など、お伝えできるようにと、今後、取り組んでいきたいと考えております。また、皆様からのご意見などもお聞かせください。
 4月26日には、第1回運営委員会が開催され、当センターの今後の方向性などの検討が始まりました。第2回運営委員会は7月を予定しており、公開となっておりますので、詳しくは当センターまでお問い合わせください。ちなみに4月の来所者数は164人(見学含む)でした。
 ●休館日／月曜日・年末年始(臨時休館あり)
 ●開館時間／AM9:00~PM9:00(ただし、PM5:00以降は前日予約が必要)
 ●問い合わせ先／518-1395 伊賀市馬場1128番地(伊賀市阿山支所西隣) 多目的集会所内 Tel.0595-43-1135(代表) Fax.0595-43-2205 E-mail igasksc@ict.ne.jp

.....
日独ファンドレイジング・シンポジウム

～環境先進国ドイツの事例と日本の助成制度からNPOの資金調達を考える～
 ●とき／6月25日(土) AM10:00~PM5:30
 ●ところ／愛知芸術文化劇場アートスペース(名古屋市)
 ●内容／日本の環境NPOに共通する最大の課題である活動資金に焦点を当て、環境先進国ドイツより市民活動のファンドレイジング(資金調達)専門の活動家を招き、ドイツ国内での事例を報告するとともに日本の助成制度を紹介し、日独の資金調達の中から、環境NPOの運営基盤の本質的な課題解決に向けた議論をおこないます。また同時に、国内の助成金制度の認知を高め、併せて、企業、行政の環境NPOへの支援を考えるとともに環境NPO団体が継続的な活動ができるようになることを支援します。講師は「環境NPO先進国」ドイツでも著名なハンス・ヨーゼフ・ヘーニッヒさんです。
 ●申込・問い合わせ先／日独ファンドレイジング・シンポジウム事務局セブン・イレブンみどりの基金(担当:小野) Tel.03-6238-3872
 地域の未来・支援センター(担当:今岡) Tel.052-339-5541

.....
フリーマーケット情報

「フリーマーケットin四日市ドーム vol.18」
 ●とき／6月12日(日) AM10:00~PM4:00
 ●ところ／四日市ドーム(四日市市大字羽津甲5169)
 ●入場料／前売315円 当日525円
 ●内容／ブース数は1階650、2階60。共催はFM三重。
 ●問い合わせ先／510-0071 四日市市東日野町1288-73 特定非営利活動法人MFA Tel.0593-20-0133 Fax.0593-20-0134 ホームページ <http://www.mfa.gr.jp/>

.....
第50回三重県・第43回中勢地区 母親大会in津

●とき／6月26日(日) 受付AM9:00~ 開始AM9:30~PM4:00
 ●ところ／三重大学生物資源学部・講堂
 ●参加費／一般700円、高校生・学生300円(資料代)小学生以下無料 その他、保育500円(おやつ付)、お弁当販売500円
 ●内容／母親大会は子育てや教育、くらし・福祉、男女共に生かせる社会、平和など、なんでも気軽に話し合い、学び合い、共に行動するひろばです。いま、子育て中のあなたも、これから父母になるあなたも、若い人も、おじいちゃん、おばあちゃんもどうぞお出かけください。当日は19のテーマに分かれた分科会のほか、記念講演「子どもたちに夢と希望と平和を。いま、憲法・教育基本法を守るとき」などを行います。講師は東京大学教授であり、「九条の会」事務局長、

.....
助成金 ニュース

緑と水の森林基金
 ●受付締切／6月15日(水)必着
 ●助成の対象となる団体／民間の非営利団体、法人、個人(調査研究に限る)。
 ●助成の対象となる活動／1、普及啓発森林。2、調査研究。3、活動基盤の整備。4、国際交流。
 ●対象事業の期間／平成17年9月1日~平成18年8月31日
 ●助成の額／限度は団体200万円(特別な事業は300万円)、個人100万円。
 ●応募方法／申請書は下記に請求するか、ホームページからダウンロード。
 ●問い合わせ先／(社)国土緑化推進機構「緑と水の森林基金」係 102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 Tel.03-3262-8451 Fax.03-3264-3974 ホームページ <http://www.green.or.jp>

.....
緑の募金公募

●受付締切／6月15日(水)

●助成の対象となる活動／【国内または海外で行う森林整備及び緑化推進の活動】

【事業内容を特定した身近なテーマ】募集テーマは次の3つ。『花粉の少ない森づくり』、『災害に強い森づくり』、『耕作放棄地の森づくり』

●対象事業の期間／平成17年9月1日～平成18年8月31日

※可能な範囲で、活動の一部または全てを「森林ボランティアの日」(9月第3日曜日)の前後1ヶ月の間に実施するよう計画してください。

●助成の額／一事業につき限度300万円。(特定事業は200万円)

●問い合わせ先／【国内で行う事業】(社)国土緑化推進機構「緑の募金」係 102-0093 東京都千代田区平河町2-7-5 Tel.03-3262-8451

Fax.03-3264-3974 ホームページ <http://www.green.or.jp>

【海外で行う事業】(財)国際緑化推進センター「緑の募金」国際緑化公募係

112-0004 東京都文京区後楽1-7-12 林友ビル

Tel.03-5689-3450(代) Fax.03-5689-3360

平成17年度自然体験活動支援事業

トム・ソーヤースクール企画コンテスト

●受付締切／6月20日(月)必着

●助成の対象となる団体／【A 学校団体部門】

【B 一般団体部門】定款・規約等を整備し組織としての形態を有する団体で、小中学生が10名以上参加する企画であること。

●助成の対象となる活動／自然のなかでの体験活動であれば、内容は一切問いません。ユニークさと創造性にあふれ、高い効果が考えられるものとします。事業例…地域交流、環境教育、史跡探訪、自然探検、アウトドアスポーツなど目的が明確であり、青少年の健全育成に寄与するものであること。

●対象事業の期間／平成17年7月10日～平成18年1月9日

●助成の額／1団体20万円。総数30団体。

なお、応募団体には参加賞(チキンラーメン1ケース)を進呈。また、入選団体が提出した実施報告書を審査し、優秀な団体には賞が贈られます。

●応募方法／応募部門(A・B)を確認の上、所定の用紙を郵送で提出。用紙はホームページからダウンロード。

●問い合わせ先／(財)安藤スポーツ・食文化振興財団郵便番号 563-0041 大阪府池田市満寿美町8-25 「トム・ソーヤースクール企画コンテスト」係(担当:安藤・武尾・市川) Tel.072-752-4335 Fax.072-752-1288 E-mail zaidan@shizen-taikens.com ホームページ(安藤財団)<http://www.ando-zaidan.jp/>

(自然体験.com)<http://www.shizen-taikens.com/>

ファイザープログラム

心とからだのヘルスケアに関する市民活動支援

●受付締切／6月20日(月)消印有効

●助成の対象となる団体／1、非営利団体(法人格の種類や有無は不問)。

2、日本国内に活動拠点がある。3、原則として2年以上の活動実績がある。

4、団体の目的や活動内容が、政治・宗教などの目的に偏っていないこと。

●助成の対象となる活動／1、成長過程にある人たちの心身の発達を支援する活動。2、社会的な受け皿がないために健康管理・医療が受けられない人たちの心身のケアを支援する活動。3、障害を持つ人や療養にある人たちの充実した生き方を支援する活動。

●助成の額／1件あたり上限300万円。12件程度。

●応募方法／申請用紙はホームページからダウンロードするか、「ファイザープログラム応募用紙郵送希望」と明記の上、氏名、住所(郵便番号、電話番号を添えて、Faxで申込む。申請書類は郵送または宅配便で送付。

●問い合わせ先／ファイザー製薬株式会社 ファイザープログラム事務局(担当:鈴木) 151-8589 東京都渋谷区代々木3-22-7 新宿文化クイン

ビル Tel.03-5309-7663(月～金 AM10:00～PM6:00)

Fax.03-5309-9004 ホームページ

<http://www.pfizer.co.jp/pfizer/company/philanthropy>

(社福)NHK厚生文化事業団 第17回「わかば基金」

●受付締切／6月24日(金)必着

●助成の対象となる団体／地域で活発な福祉活動を進めているグループ。法人は助成対象外ですが、NPO法人は申請できません。

●助成の額／1グループにつき上限70万円。約15グループ支援予定。

●応募方法／申込書は下記より電話にて取り寄せるか、ホームページからダウンロード。申請は郵送のみ受付ます。Faxでは受付できません。

●申込・問い合わせ先／(社福)NHK厚生文化事業団 150-0041 東京都渋谷区神南1-4-1 第七共同ビル Tel.03-3476-5955

Fax.03-3476-5956 ホームページ <http://www.npwo.or.jp>

(社福)NHK厚生文化事業団中部支局 461-8725 名古屋市中区東桜1-13-3 NHK名古屋放送局内 Tel.&Fax.052-952-7150

野村国際文化財団 芸術文化助成

●受付締切／6月24日(金)必着

●助成の対象となる活動／【1、美術】既存美術館の開催する展覧会のうち、特に教育的色彩を重視するもの。その他、美術教育に係わる催事。

【2、音楽・オペラなど】オーケストラ、室内楽、独奏、合唱などの活動で教育プログラムを重視した催事。音楽家の海外留学または研修、音楽普及と向上を目的とした国際的活動。

【3、芸術文化の国際交流を目的とする活動や催事開催への助成】

●助成の対象となる団体・個人／助成対象となる活動を行う団体および、個人。外国人の場合、日本国内における受入れ責任者(団体)が代わって申請。

●対象事業の期間／下半期(平成17年10月～平成18年3月)の活動。上半期(4月～9月)の活動は12月に募集締切があります。

●応募方法／申請書はホームページからダウンロードするか、郵送希望の場合は郵便、Faxなどで申請書の種類(美術団体A・美術個人a・音楽団体B・音楽個人b)、送付先住所、氏名および連絡先電話、Fax番号、E-mailアドレスを記入のうえ、下記まで請求。申請は郵送にて。

●問い合わせ先／(財)野村国際文化財団事務局 103-0027 東京都中央区日本橋1-9-1 Tel.03-3271-2330 Fax.03-3281-8522 ホームページ <http://www.nomuraholdings.com/jp/bunka-zaidan/>

丸紅基金社会福祉助成事業

●受付締切／6月30日(木)消印有効

●助成の対象となる団体／わが国における社会福祉事業(福祉施設の運営、福祉活動など)を行う民間の団体。原則として非営利の法人。ただし、法人でない場合でも3年以上の継続的な活動実績があり、組織的な活動を行っている団体は対象となります。

●助成の額／総額1億円をめぐり50件以上。1件あたり原則、上限200万円。

●応募方法／所定の申込用紙、添付書類を送付。申込用紙はホームページからダウンロードするか、郵便番号と住所、団体名、担当者名、電話番号、Fax番号を明記し、ハガキまたはFax、E-mailにて下記まで請求。

●問い合わせ先／社会福祉法人丸紅基金 108-0014 東京都港区芝5-20-6丸紅東京本社三田別館4階 Tel.03-5446-2474・2475

Fax.03-5446-2476 E-mail mkikin@marubeni.com

ホームページ <http://www.marubeni.co.jp/kikin/fund.htm>

助成財団センターは、助成、表彰、奨学などを行う財団法人・その他の法人などの情報を収集し、活動内容を広く社会に発信していくことを主な目的としています。その情報は冊子で刊行されているほか、ホームページやファクシミリサービスでも閲覧できます。

(財)助成財団センター Tel.03-3350-1857 Fax.03-3350-1858
ホームページ <http://www.jfc.or.jp/>



▶▶▶ 桑名市 ▶▶▶

特定非営利活動法人
みえきた市民活動センター
511-0068 桑名市桑名市田町33
Tel.0594-27-2700
E-mail miekita@mie-kita.gr.jp
ホームページ
<http://www.mie-kita.gr.jp/>

小さな小さな報告書

「私たちの『まちづくり講座』」というタイトルの小さな手づくり冊子をいただきました。カラープリンターでA4の大きさに打ち出した紙を袋とじにしたもので、全部で20ページのかわいいものです。ひらいてみるとこんな質問が…。たとえば、「“まち”って何だろう?」「“まちづくり”とは?」「今、どんなまちの課題があるのだろうか?」「さあ、私たちはどうしたらいいのだろうか?」

二年前の春、桑名の旧市街地の一角に精義公民館ができました。このまちづくり講座はその年にはじまり、第二期目の平成16

年度のまちづくり講座をまとめた報告がこの小冊子、内容を簡単に紹介しますね。6月は旧北勢町にあるまちかど博物館のひとつ「なでしこの家 罹麦堂(くばくどう)」を訪問し、句碑や道標の拓本に歴史のロマンを。7月は少子高齢社会をテーマにしたアニメ「一枚の絵手紙」を見ました。空き店舗や宅老所、石取祭りを支える若者をどうする?8月は精義小学校の子供達といっしょに映画「夏の庭」の鑑賞。9月は名張市つつじが丘団地公民館の山田主事さんの「公民館を地域活動の拠点にするまで」のお話を聞きました。9月と10月は男女共同参画のお話、1月はアニメ映画「風の旅人」の鑑賞。その他に11月には親子クッキー教室を行い、一週間後の

精義公民館文化祭で子どもたちがそのクッキーを販売、収益金を新潟地震の被災者救援に送ったことが記されていました。

読んでみて、精義地区の人たちのまちづくり講座の内容ではじめて知ることがたくさんありました。地域にはいろいろな人がいて、考え方がちがってあたりまえです。「まち」って何だろう?」「まちづくり」とは?」「今、どんなまちの課題があるのだろうか?」「さあ、私たちはどうしたらいいのだろうか?」。考え方が違うからこそ、自分の考えや活動を伝えていくことが大切だと思いがちながら、この小冊子が精義地区のまちづくりにはずれ役は小さくないと感じました。

伊勢市

W.T.Aまちづくり情報

伊勢市 伊勢中野町

〒518-0267 伊勢市上野福馬町3317
tel:0595-24-7612, 090-3302-0627 fax:0595-23-0072
E-mail:nagi-4743@ezweb.ne.jp 既:091-474.3@yahoo.co.jp

6月25日(土) 18:00~

伊勢市伊勢支所 和幸会堂

7月6日(水) 18:30~

太山田豊材理成2号ホコラビ

コア本格的な立派な方々のネットワーク交流会と相談会。毎朝のあさ方、その位置にいる方などお気軽にご参加下さい。

三重県内(伊勢)での交流会もしています。次回は7月予定。お問い合わせは来月までお知らせします。

伊勢市自治基本条例 勉強会の開催

6月7日(木) 19:00~

伊勢市伊勢支所 豊和会堂

伊勢市自治基本条例勉強会を開催します。伊勢市自治基本条例の概要、伊勢市の現状、伊勢市の未来について学びます。伊勢市自治基本条例の概要、伊勢市の現状、伊勢市の未来について学びます。


6月25日(土) 18:00~

伊勢市伊勢支所 和幸会堂

『第5回伊勢志摩みらいづくり民間支援事業 公開審査』

『リソース(中古)パソコン贈呈式』も同日開催

伊賀市



いせ市民活動センター

パーティいせ情報

■休館日/毎週水曜日 (その日が祝日に当たるときは、翌日以後の休日でない日)

■開館時間 午前9時から午後10時

市民活動団体
交流会

◆誰でも参加できます。
お菓子や飲み物持参の持ち寄りパーティです。

★詳しくはパーティまで
おたずねください!

6月25日(土) PM16:00~18:00

市民活動団体 交流会 開催!

『第5回伊勢志摩みらいづくり民間支援事業 公開審査』

『リソース(中古)パソコン贈呈式』も同日開催

市民活動も応援!

伊勢志摩みらいづくり 民間支援事業 公開審査

PM13:00~(予定)

◆伊勢志摩生活創造圏ビジョンの実現につながる取り組みを実施している個人、団体を支援する助成金です。公開審査で申請者がプレゼンテーションします

市民活動も応援!

再生パソコン贈呈式

◆市民活動団体に中古の再生パソコンを寄贈し活動を支援する日本縦断NPO団体連携企画です。交流会当日に贈呈団体(3団体を予定)が発表されます!(募集は、5月末まで。応募資格は伊勢市周辺で活動する団体)



ピカピカリソース

交流会で2分間スピーチしませんか?
テーマは「IT」。パソコン関連グッズなどの賞品がありますよ~!

当日エントリーができます
テーマ「ITでつながる市民活動」「子どもとIT」「お年寄りとIT」「外国人とIT」「災害とIT」の5つの中から一つ選んで、2分間のスピーチをしてください

いせ市民活動センター

パーティいせ

伊勢市岩瀬1丁目2番29号
TEL 0596-20-4385
FAX 0596-20-4386
Email/skc@e-ise.net



至伊勢市駅 神宮参道
いせ市民活動センター
伊勢市役所
北館
テラーパーティいせ
外宮前/バスのは
御幸道路
神宮(外宮)
御木本道路

ホームページも
ごらんください <http://skc.e-ise.net>

このコーナーは伊勢志摩NPOネットワークの会 が担当しています
<http://www.po-npo-n.com>

6

▶▶▶▶▶ がんばれネットワーク ▶▶▶▶▶

三重県内の市民活動団体の人をリレーで紹介していきます。但し、紹介するに当たってはルールがあります。1・同じ地域で無いこと。2・同じ活動分野で無いこと。さてどんな人がどんなふうに、つながっているのでしょうか。平均年齢70歳以上!というNPO法人、海山元気の会会長の服部さんからバトンが渡ったのは、今井康人さん。明るい口調が印象的な今井さんは歯医者さんでありながら、海山町林業研究会の会長さんなのです。

無人島サバイバル

……市民活動を始めたきっかけは?
尾鷲青年会議所(以下、JC)で、ひとつづくり委員会の担当になった時、せっかく任されたのだから、僕のカラーで年間事業の目玉を立ち上げようと思い、無人島サバイバルを行いました。紀伊長島町の野々瀬海岸で子どもたちと1泊2日のキャンプを行ったのですが、この海岸へはとてもし険しい山の中を徒歩で行くしか方法がなく、いわゆる無人島状態なんです。そのうえ、海岸でキャンプした翌日は本当の無人島へ上陸するというメニューでした。
……子どもの安全確保はどう解決したのですか?
最終的には自衛隊の支援を受けて、尾鷲市と海山町に後援していただきました。あと、僕がたまたま作家の立松和平さんと知り合いだったので、彼にも参加していただきました。
……なぜ、自衛隊に協力をお願いしたのですか?
この事業を行ったのは1995年、阪神・淡路大震災の年。震災の支援に、僕も行ったのですが、現場で一番きびきびと動いていたのが自衛隊でした。組織力においても、個人の自己完結能力に関しても、すごく頼りがいがあり、その姿を見て協力をお願いしました。
……どうやって自衛隊に企画を持ちかけたのですか?
久居市にある陸上自衛隊久居駐屯地の広報部に電話をしました。当時、広報部長だった山本さんが僕の話に同意してくれて、「紀伊長島方面を担当している中隊長に面白い人がいるから」と紹介していただいたのが二中隊長の島瀬さんです。島瀬さんは阪神・淡路大震災の教訓から、地域の方や行政と顔見知りの関係を作りたいと考えていたので、この企画がいいチャンスになると非常にノリ気になってくれました。
……参加者は何人ぐらい?
当初は小学5年生から中学生まで、50人募集したんです。尾鷲市の地元紙に掲載してもらったら、1日でいっぱいになって。それで、ちょっと人数を増やして最終的には75人まで受け入れました。
……大人の数?
JCからは30数名参加しました。自衛隊から現地に75人。マンツーマンディフェンスですね(笑)。あと、テントなどの物資を運び込む後方支援に50人。
……現地での自衛隊の役割は?
子どもたちの安全確保のほか、テントなどを自衛隊からお借りした

ので、その張り方も子どもたちに教えていただきました。また、阪神・淡路大震災で救助を体験した隊員の方に「地震が起こった時、こんな風にしてた人は助かった」とか、「子どもたちも地域の支援のために頑張っていた」というお話をしてもらいました。
……ではJCの役割は?
当日までの準備としては全体を企画、統括しました。行政とお話したり、予算の算段をしたり。当日はプログラムの進行を主に行いました。その部分は自衛隊さんにお任せできませんから。
……印象深いエピソードなどは?
食料調達ですね。できるだけ食料は持っていかずに、持っていく物も生ものにしてました。それで「さあ、晩ご飯の材料を探しに行こう」と出かけるわけです。メンバーの中には山菜に詳しい人もいますから、いろいろ探しつつ歩いて、最後には「ここに君たちのご飯があるぞ!」って、食料を用意した所に導いていきます。
……その食料とは?
生きたニワトリと食用蛙(笑)。まず最初に「フライドチキン好きな子いる?材料はこれなんだよ。君たちが知らない所で、ニワトリがお肉になっているんだ」と話しました。「いただきます」と「ごちそうさま」の意味を説明して、ニワトリをさばきました。
……ニワトリのさばき方を指導できる人がいたのですか?
その場になったら、やるしかないでしょう(苦笑)。とにかく首を切って、血を抜くんだ。羽根はむしるんだって。
……子どもたちは見ていたのですか?
先にJCメンバーがやって、その後、同じようにしてもらいましたが、泣く子とか、いませんでしたよ。逆に「やらせて」って。それは変な意味じゃなくて、最初にきちんと話をしたから、みんなわかってきているんです。それに腹ぺこだしね。実は、後でご家族から非難もあるだろうなと思っていたんですが、結果は1件もありませんでした。逆に感謝されたぐらいです。このキャンプで僕は「マニュアルが無いと、何もできない」という状態が、今のいろんな問題を起こしているんだと感じましたね。マニュアルは自分で作らないといけないうし、新しい世の中に合った物差しを持った人が最後には勝つ。その物差しを探す努力が今までの勉強の中では重視されてなかったのかなって思います。

尾鷲ヒノキの良さを広める「海山林業研究会」

……JCから活動が広がっていったのですか?
このキャンプをきっかけに、いろんな所から声をかけていただくようになり、その中の一つに速水亨さん(05年2月号NPOリレーインタビュー登場)からお誘いいただいた海山町林業研究会があります。
……今井さんと林業の関係は?
元々、僕の家は林業を生業としていて、父は海山町林業研究会を立ち上げたメンバーなんです。僕は歯科医になりましたが、今でも山は持っています。しばらく休止状態だった海山町林業研究会を再開させるにあたって、速水さんからお誘いがあった、「僕は林業について、全然ワケがわかりませんが、育てていただくつもりでご紹介になります」と参加したら、その日に速水さんから突然、「次の会長は今井くんね」と指名されたんですよ(苦笑)。そもそも林業研究会は山林所有者のための会だったのですが、僕が参加した時から林業に関わる人なら誰でも入ってよいことになったんです。これを最終的には地域の林業や森林を愛する方なら誰でも参加できるように変えていこうと思っています。その第一段階として、現在林業で



飯を食っていない僕をトップにするのは、一つの手法としてありかなと思いました。

……海山町辺りの林業の現状は?

僕たちには、僕のひいおじいちゃん世代がつくって、残してくれた尾鷲ヒノキというブランドが大きな財産としてあります。でも尾鷲ヒノキの良さを知っている人はどれだけいるでしょう?そこで尾鷲ヒノキの良さを知ってもらうために日常生活の中で使えて、「尾鷲ヒノキってええな」と実感してもらえる物は無いかと考え、思いついたのが尾鷲わっぱ。昔から山で働く人が弁当箱として持っていたこれこそ毎日使い、一生使えるもの。これで毎日、お弁当を食べている人は家を建てる時に、尾鷲の木を使ってみようと思ってくれると思いませんか?

僕は人を誘うとき「楽しいから」とは 言いません。

「大変だけど、おいで」って(笑)

……尾鷲ヒノキは高価なイメージもありますね。

確かに3割方高価です。それに尾鷲ヒノキは無地で、白木というイメージもあります。でも実際には節のある建築材料としては最低ランクの材もあります。それも見方によれば味わいがあるもの。これからは新しいイメージを作る必要があると思いますし、そこを充実させれば、将来も良くなるんじゃないかと思っています。

……活動内容は?

「工芸」という切り口でものづくりを考える「ものづくり勉強会」を2003年から立ち上げました。さっきの自衛隊の話ではありませんが、この勉強会も人と人の繋がりでできあがったものです。東京芸術大学(以下、芸大と略)を卒業されて、今はコクヨに勤めている方が、芸大の先生と僕らを繋げてくれたんです。ちょうど、国立大学も独立法人化されて、その技術力や知識を地域に還元し始めている時でもあり、タイミングも良かった。尾鷲ヒノキと芸大の技術力、コクヨの企業としての商品開発力、販売力、企画力が上手くミックスすれば、ちょっと違う未来が開けるんじゃないかな。今は三者の信頼関係をつくり、目的意識を共有しようという段階です。

……具体的にどんな活動を?

2003年12月に第1回の勉強会を行いました。芸大の先生方に来ていただいて、地域の木工作家や町を見られました。第2回は芸大の先生の作品を見る勉強会を海山町で行い、第3回は芸大の卒業作品展を地元でものづくりに関わっている方たちと視察に行きました。また、子どもたちにヒノキに触れてもらうことを目的にしたワークショップも開催しました。この時はヒノキのカナナ屑と布を使った裂き織りを体験してもらいました。裂き織りとは昔、東北地方などでおこなわれていた手芸で、古い着物を裂いてタペストリーや着物地をつくった手仕事です。このワークショップでは障子の棧にカナナ屑とキレを編み込み、最後にはこの作品を和室に建てて、お茶会をおこないました。

……興味深い活動ですが、会員の中にはもっと実益に還元できる活動を求める声もあるのでは?

それもあって2005年春から林業研究会とものづくり勉強会を切り離して、別々の組織としました。もっともメンバーは一緒(笑)。林業研究会の方ではもっと実益に繋がることをしていこうと考えています。でも、ものづくり勉強会も、考えようによっては凄腕の武器。他の町に出かけて「海山町から来ました」と言っても、「そこ、どこ?」と言われることが今は多いのですが、ものづくり勉強会の活動が知られて「芸大と勉強会している所ね」と人から言ってもらえるようになれば、これぞ差別化です。



ワークショップで作った
ヒノキの裂き織りです。

しんどいけど、辞める気はない……

……活動を続けている理由は、やはり楽しいから?

いや、これからやってみようという人には悪いけど、むっちゃしんどいですよ(笑)。

……それなのに続ける理由は?

僕は割と途中で投げ出すことも多い方ですし、義務感も感じてません。だから、なんでしょ?やはりアイデンティティの確立という部分でしょうね。活動をしていれば頭を下げる時もあるし、義理もできる。逆に友だちもできますから、そういう面では楽しいと言えるのかな。

……仲間が増える喜び?

自分という人間は一人しかいませんが、同じ気持ちを持った人が増えたとしたら、それは自分が増えていくのと同じ。とても心強いことです。多分、いろんなことをずっと一人でやっていたら最終的にはへこむ所にまで追いつめられるのでしょけど、僕は一人でやっているわけではありませんから大丈夫。

……人が増えることで、生まれてくる問題もあると思いますが?

全員、違うスタンスで参加しているわけですから、いろんな意見が出て当然です。大事なのは一人ひとりが何を求めているのかを常に考えておくことでしょう。人によって活動を始めるきっかけはいろいろ。友だちを作りたい人もいれば、自分の特技や能力を活かしたい人もいます。こんなまちづくりをしたいと思っている人もいるかもしれません。それだけ違えば「楽しい」と思うことも違うでしょう。僕は人を誘うときに「楽しいから」とは言いません。「大変だけど、おいで」って(笑)。この前も森林組合のスタッフに「ここでえらいめにあったことは、どこかで生きるから。これは無駄じゃないんだと自分に言い聞かせて」と話しました(笑)。

……今井さん自身、ツラかったことは?

無人島サバイバルの頃は、僕の下の子どもが3歳ぐらいでした。僕が仕事を終えるのを子どもはずっと待っているんです。でも、夜の会議があるから「遊ぼう」という子どもに「ごめんね」と言って出かけていく毎日。「自分は何をしているんだろう」って思いましたね。子どもたちに少しでもいい未来を残したいと思って活動しているのに、今、目の前で自分の子は泣いているんですから。でもこの時に妻がすごく上手に言うてくれました。「お父さんを必要としている人はいっぱいいるの。今日、お父さんはその人たちのために出かけるけど、あなたのために時間を作る時は、お父さんは一生懸命時間を作ってくれる。だから、今日は我慢して」って。彼女は僕にとって、自分の子どもに泣かれても出て行かなくてはいけないのが、一番ツライことだろうとわかってくれていたんだと思うんです。

……本職に、市民活動。忙しくて大変でしょう?

妻は「お呼びがかかるウチが華よ」と言ってます(笑)。必要とされているうちは、できる限りのことはしようかなと。その内、もっと若い同志が育ってきて、活躍するようになれば、僕の仕事は終わったと思って、ちょっとラクができるのかなって思っています。

海山町林業研究会事務局(担当:川端将文)

住所/519-3408 北牟婁郡海山町大字便ノ山200 森林組合おわせ内

Tel.0597-32-0275 Fax.0597-33-0028

ものづくり実行委員会事務局(担当:塩崎弘享)

住所/519-3405 北牟婁郡海山町船津2655 森林組合おわせ円柱加工場内

Tel.0597-35-0877 Fax.0597-35-0890

今井康人さんはこの人を紹介します。

谷口仙二さん

鳥羽めだかの学校校長(夢職)。

お
ね
が
い

市民活動・ボランティアにユースに情報を提供される際、以下のことにご注意ください。

(1) 原稿はにユースにそのまま掲載できる状態にして、毎月15日までにお送りください。

(2) 送付はE-mailもしくはFaxで。その際、「市民活動・ボランティアにユースへの掲載のお願い」と件名を明記してください。Fax.059-222-5971 E-mail seiknp@pref.mie.jp

転載を希望される場合は必ずNPO室に連絡してください。